

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		交通安全推進事業費 [スタントマンによる体験型自転車交通安全教室]									
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	公安費	事業番号	2
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	土木 課 交通安全対策					係	課長名 寺島 由紀夫				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 4		
【施策名】 道路・交通の整備								総合計画書(ページ)	89		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・市立中学校の生徒 ・一般参加者					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市立中学校生徒総数(2,053人)、一般参加者 ※生徒総数は、平成31年5月1日時点の総数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 生徒・一般参加者に交通ルールを周知させ、自転車利用のマナーを向上させる。 ※平成31年度は二中で実施。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ・二中の生徒数(339人)、一般参加者(39人) ※二中の生徒数は、平成31年5月1日時点の生徒数					
	③ そのために何をしましたか。 ・スタントマンが受講者の目の前で交通事故を再現することにより、交通事故の衝撃や怖さを実感させ、交通ルールの必要性について、受講者自身に考える機会を与える。 ※平成31年度は二中で実施。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ・各中学校において3年に1回実施。 ※平成31年度は二中の1校で実施。					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	2,116	2,097	2,053					
	成果指標	②の数値	人	862	952	378					
	目標	②の目標値	目標値設定の考え方 実施中学校の生徒数と一般参加者を1校あたり20人とした合計人数								
	活動指標	③の数値	実施校数	1	2	1					
3 経費	事業費(実績)		円	270,000	561,600	280,800		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	270,000	561,600	280,800					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	10.0	10.0	10.0					
		所要人数(再任用)	時間	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	42,000	42,000	43,000					
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
事業費+人件費		円	312,000	603,600	323,800						
4 環境変化等	(1) 開始年度		20 年度								
	(2) 環境の変化		スタントマンによる体験型自転車交通安全教室は、新たな教育技法として警視庁が平成19年から始めたもので、当市では平成20年度から東大和警察署の協力により、中学生を対象に交通ルールの周知と自転車利用マナー向上のため毎年開催している。なお、生徒が在校中に1度体験できるよう、3年間で5つの中学校に対して各1回実施している。 近年、自転車利用マナーが問題視されており、平成25年12月の道路交通法の改正による自転車の通行方法の変更や、「自転車安全利用五則」の周知の必要性等、中学生に対する交通安全教室の果たす役割は益々重要性を増している。								

事業名称	交通安全推進事業費 [スタントマンによる体験型自転車交通安全教室]			
担当部署・課長名	土木	課	交通安全対策	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 平成31年度ではないが、過去の議会において、更なる広報により近隣住民等の一般の参加を促す必要があるとの意見があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市報・チラシ）、二中学区の自治会に対して、案内チラシを配付した。（24自治会） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市報・チラシ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
7 課題	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 一般市民の参加が少ないため、どのような手法で参加者を増やしていくのかを考える必要がある。			
	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 情報提供の範囲の拡大や周知方法の検討の余地がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 市報での広報及び開催中学校区域内の自治会にチラシを配付した。			
8 施策貢献状況	(この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 道路・交通の整備 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)			
	9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ①現在、体験型自転車交通安全教室の実施について、市報への掲載、学校から保護者への連絡等による広報を実施しているが、更に中学校付近の自治会への周知等の工夫が必要である。 ②開催日程を決める際に、一般参加者（特に保護者）が参加しやすい土曜日や日曜日（公開授業）などに開催する等、中学校との調整も必要である。		
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 開催日程を決める際に、一般参加者（特に保護者）が参加しやすい土曜日や日曜日（公開授業）などに開催するには、次年度の学校行事を決める早い段階での中学校との調整が必要である。				